

デジのわ

とちぎDX推進プラットフォーム



事業概要

とちぎDX推進プラットフォーム「デジのわ」 キックオフイベント
令和8(2026)年8月5日 栃木県 総合政策部デジタル戦略課

1

なぜ「デジのわ」が必要か

人口減少と技術の変化

2

「デジのわ」で できること

課題と技術・知見をつなぐ、
会員制の共創の場

3

皆さまへの提供 価値と参加方法

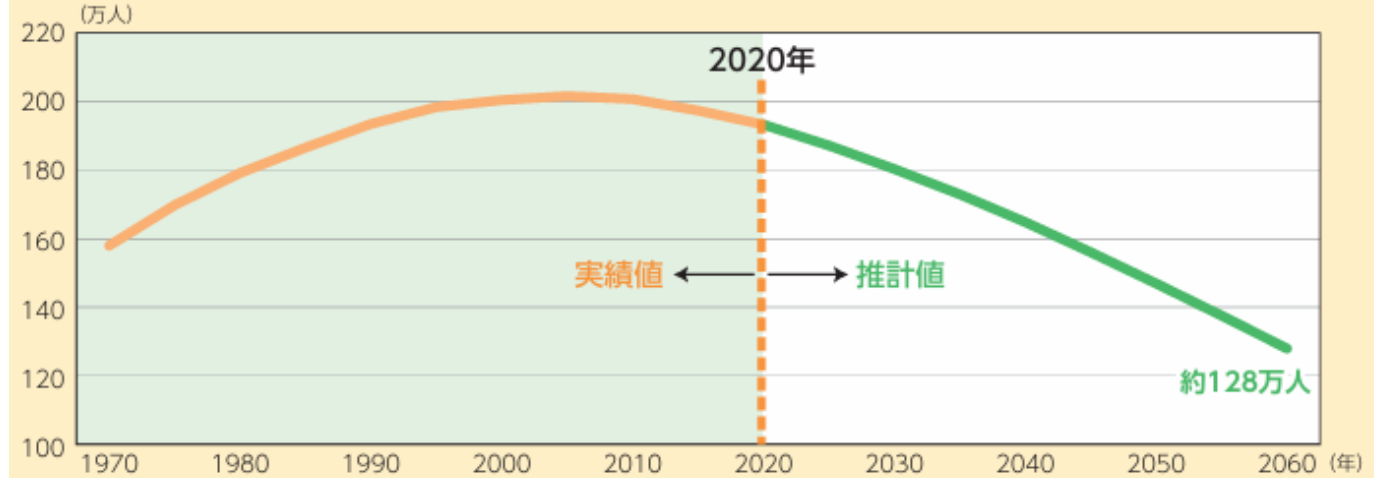
会員登録から提案、そして
実装まで

1. 栃木県の現状

～支える人が、減っていく～

2060年
約128万人
(2020年比 ▲33.8%)

栃木県の総人口の推移と将来推計人口(趨勢ケース)



資料：総務省「国勢調査」
栃木県総合政策部推計(2024年)

- 県人口は2005年をピークに減少。現在は約186万人
- 2060年には約128万人。働き手は減っていく
- 同じやり方のままでは、同じサービスは維持できない

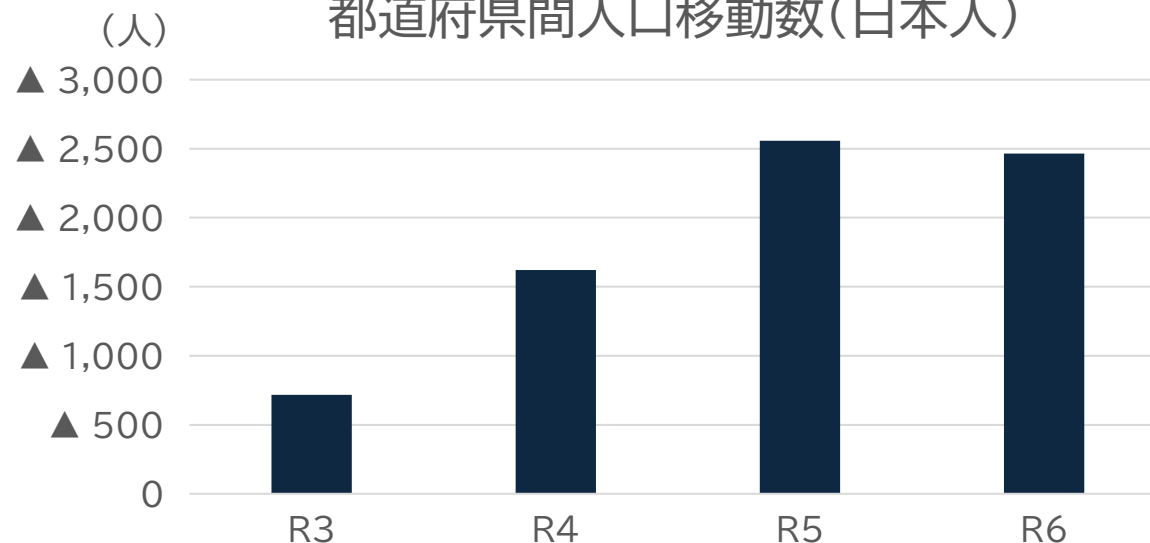
1. 栃木県の現状

～若い世代が、県外へ出ていく～

2,464人

県外への転出超過
(2024年)

都道府県間人口移動数(日本人)



- 2005年以降、転出超過が継続。2023年は前年比1.6倍
- 特に若年層・女性の首都圏への流出が顕著
- 県内企業の人手不足・後継者不足は、すでに現実の問題

1. 栃木県の現状

～技術の進化はすさまじい～

生成AI

データ活用

自動化

少ない人数で地域を支えるための技術が、この数年で一気に進展しました。

技術を取り入れる地域と、取り入れない地域。その差は、今後一気に開きます。

栃木県は、デジタル技術の積極的な導入を目指します。

2.とちぎDX推進プラットフォーム「デジのわ」とは

～目指す姿・ビジョン —「らせん型共創」～

1つの市町の「小さな一歩」を、
25市町の「社会実装」へ。



とちぎDX推進プラットフォーム「デジのわ」



県・市町

- ・課題（ニーズ）の提示
- ・解決に向けた情報収集
- ・提案内容の検討

課題解決

課題（ニーズ）と シーズのマッチング

機能

- ニーズ／シーズの掲載
- 情報の発信・共有
- 共創・交流の場づくり
- 実装へ向けた伴走支援

デジタル技術の社会実装による
地域課題の解決へ



企業・大学等

- ・自社技術の登録（シーズ）
- ・課題内容の確認
- ・解決策の提案

自社PR・地域貢献

2.とちぎDX推進プラットフォーム「デジのわ」とは

～3つの目的～

01

地域課題の解決

県・市町の課題と、企業・大学等の
シーズを結びつける

県・市町が抱える課題を掘り起こし、技術・ノウハウを持つ企業・大学等と結びつけ、課題整理→提案募集→ソリューション選定→実装検討の一連を事務局が支援する。

02

産学官連携のハブ整備

県・市町、企業・大学等が対等に
関わる場をつくる

県・市町、企業・大学等が対等に関わり、活用できる産学官連携の場を整備する。会員制で課題・シーズを共有し、継続して連携する基盤をつくる。

03

デジタル実装の加速

実装候補を生み、本格導入に
つなげる

R8年度中に実装候補案件を創出し、R9年度以降の本格導入につなげる。

2.とちぎDX推進プラットフォーム「デジのわ」とは

～栃木県だからできること — 4つの強み～

01 広域スケール

「点」の成功を「面(県全域)」へ
広げる展開力



02 ローカル・スタンダード

全国展開の足がかりとなる
「日本の縮図」



03 地の利・実装環境

首都圏と直結する
「リアルなフィールド」



04 県との伴走型プロジェクト

市町が単独では踏み出しにくい
挑戦を、県の枠組みで検討



3. ご提供する取組と、参加の方法

～主な取組～

01

ニーズとシーズ
のマッチング

02

情報発信
・共有

03

共創・交流の
場づくり

04

実装に向けた
伴走支援

3. ご提供する取組と、参加の方法

～課題整理から実装に向けた検討まで、県が伴走～



「課題を出して終わり」ではなく、提案しやすい形に整え、実装に結びつけます。

3. ご提供する取組と、参加の方法

～会員のメリット～

市町

「うちだけでは無理」を、「県と一緒に試せる」に。
課題の整理から実装に向けた検討まで県が伴走します。

企業

県・25市町の”生の課題”に直接ご提案いただけます。
実装の機会と実績、そして県内のつながりが得られます。

大学・研究機関

行政の現場が、そのまま研究テーマと検証フィールドに。
共同研究、学生の実践の場として活用可能です。

3. ご提供する取組と、参加の方法

～Webサイトー本日、正式オープン～

- 県・市町の地域課題、企業・大学等のシーズ、先進事例を、いつでも見られます。
- 会員になると、課題の詳細を見て、いつでも提案できます。
- イベントの日だけでなく、一年中つながり続ける場です。



3. ご提供する取組と、参加の方法

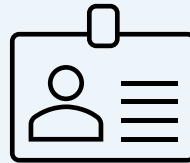
会員登録のご案内

1



「とちぎ デジのわ」で検索

2



会員登録(無料)

3



マッチング・共創

「デジのわ」は、会員の皆様とともにつくる場です。
まだ登録がお済みでない方は、この機会にぜひご登録ください。

今年度のスケジュール

7月

Webサイト プレオープン・会員登録開始

8月5日

本日:サイト正式オープン&キックオフ

8月5日～

課題掲載・提案募集・共創ワークショップ

2～3月

年度末報告会(成果と学びの共有)

来年度～

選定案件の本格導入へ向けた検討

1つの市町の「小さな一歩」を、
25市町の「社会実装」へ。

この後、地域課題を2件ご紹介します。